

## 金精山 (2244m)・五色山 (2379m) 下見山行報告

[山行日] 7月3日(土)・快晴

[集合場所] 仙石宅-日酸公園5時

[交通] 車1台

[費用] 3000円

[メンバー] CL:島田・SL高崎・清水敬・仙石 計4名

[コースタイム]

日酸公園5:00＝金精峠駐車場7:15—金精峠8:00—

金精山9:30—国境平10:00—五色山11:00(昼食)

11:50—弥陀ヶ池12:40—菅沼登山口14:20＝日酸公園17:00(解散)



7月12日、月例山行の下見として計画を組んだ。8年前息子に連れられて、今回のコースを歩いたが、きつく、登山路が荒れている程度しか覚えていなかった。リーダーとして会員と一緒に歩くには、不安があったので、下見山行を実施した。参加者は、登山歴も長く安心して階段をのぼりはじめたが、前日までの、豪雨が影響したのか、金精峠までの道はかなり荒れていた。また、このルートは登山者も少なく、梯子などの固定も不十分であった。金精峠から金精山までのルートも同様で、登山路に亀裂があるので注意との看板があった。



金精山山頂近くは、急登で足場が悪く、同道を下りに使用するには、危険性が高いと判断した。国境平付近には、残雪があり雪の深いことを実感した。下には、湯元スキー場が見え、景色は最高であった。

ここから五色山までは、笹原の中を進み、右側に多数のシクナゲが群生していた。ただ今年は、花芽が少なく、来年の7月中旬はさぞ素晴らしいだろうと想像して、五色山山

頂に向かった。山頂に着くと、目の前に、白根山が姿を現した。ここでの標高差は200mである。今まで見上げる山であったが、なぜか、近親感を抱くが、雄大さに感動した山を見ることができた。ここからの、白根山の雄姿は素晴らしい。何時間眺めていても飽きないと思った。昼食を済ませ計画ルートを変更して、弥陀ヶ池へ下った。



登山路には、岩かがみなど多数の花々を見ることができた。池からは、いつもの菅沼登山口まで、会話も弾んだ。ただ、車の処まで、車道を3km程度あるかなければならない。憂鬱である。平日なので登山者は少ない。登山口に帰りの支度をしている車があった。「帰りの方向は?」と尋ねると、「宇都宮方面」だった。ラッキー。車を回収して、帰路に着いた。(島田)